

■ 2004年10月17日(日曜日)

9月補正予算成立

「福井豪雨」からの復興と「福井元気宣言」の推進に向けて

去る10月13日に閉会した9月定例県議会において、総額143億7千万円余りの補正予算が可決されました。「福井豪雨」からの1日も早い復興を目指す事業(約87億円)と、「福井元気宣言」や「挑戦ふくい」に掲げた施策を実現するため早急に取り組むべき事業(約4億円)が中心になっています。

予算編成の手法

(政策議論の実施)

予算編成に当たり、知事が各部局長と徹底した議論を行い、成果主義に基づき一つひとつの事業の評価を行いました。

(現場主義の徹底)

災害関連の公共事業の主要箇所については、専門家と県職員が被災地現場に出向き、最適な工事方法について十分調査、検討して予算化を図るなど現場主義を徹底しました。

(災害ボランティア活動先進県への取組み)

豪雨災害の復旧作業において、行政と民間が一体となったボランティアセンターの立ち上げや運営が「福井方式」として高く評価されており、こうしたノウハウをさらに進化させ、広く全国にアピールする事業を盛り込みました。

(電源三法交付金の活用)

昨年秋から使途がソフト事業にも拡大された電源三法交付金を有効に活用し、子育て支援や観光情報の提供、誘致企業の支援などの事業を予算化しました。

(政策形成過程からの県民参加)

県民の皆さんから寄せられたご意見・ご提言を積極的に事業に反映させました。

予算の概要

災害復興の推進

7月専決・8月補正予算では、被災者の立場に立った本県独自の災害対策を緊急に措置するなど目に見える形での復興を柱としてきました。

今回の補正予算では、国から財政措置が行われる激甚災害対策特別緊急事業などの実施により災害に強い

県土づくりを一層推進することを目指しています。

（社会基盤の早期復旧）

河川、道路、砂防施設などの社会基盤の復旧については、国庫補助事業の対象とならない小規模な被害箇所について、県単独で災害復旧を行います。(道路345箇所、河川202箇所、砂防等102箇所、堆積土砂等の処理49箇所)

また、林道、治山施設、養殖施設などの農林水産施設や、冠水した鉄道の変電設備や信号装置などの復旧工事を実施・支援します。

(再度災害の防止)

足羽川の福井市街地区間(6km)の整備については、国から約8割の財源措置が行われる「河川激甚災害対策特別緊急事業」により、今後5年間で、堤防の強化、河床の掘削などの改良を集中的に行います。

また、一乗谷川、鞍谷川などの河川改良や、治山ダムの新設などを行います。



河川激甚災害対策特別緊急事業の対象となる
足羽川の福井市春日地区

要介護高齢者などが介護保険サービス事業所に緊急に避難した際の介護保険サービス利用料を助成します。これは、本県が国に対し強く支援を求めた結果、全国で初めて実現したものです。

また、美山町が局地激甚災害の指定を受けたことに
 伴い、政府系金融機関から特別融資を受けた中小企
 業への5年間全額利子補給などを実施します。



一乗谷朝倉氏遺跡資料館ではパネル展示が行われるなど被災地は徐々に復興に向かいつつあります

災害ボランティア活動の推進

「福井方式」※の災害ボランティア活動を推進するため、有識者、行政関係者などによる懇話会を設置して災害ボランティアの活動推進策や県独自の条例制定などを検討します。また、NPO、行政関係者などを対象とした「災害ボランティア全国フォーラム」(今年11月)やリーダーの養成塾(毎年2地区)を開催します。

※行政と民間が一体となってボランティアセンターの
立ち上げや運営を行う方式



福井豪雨で活躍した災害ボランティアの皆さん

本県は、平均寿命が男女とも全国第2位であることから、「健康・長寿」をふくいのブランドとして全国に広めていくため、イメージポスターを8月末から大都市圏のJR駅などに順次掲示しています。このイメージポスターに、全国からの支援に対するお礼の言葉と本県が元気を取り戻しつつある旨のメッセージを添えたポスターを作成し、全国の主要図書館や郵便局などに掲示します。

また、県外からのボランティアの皆さんなどに越前和紙によるお礼状を発送します。

県民生活の安全・安心

災害で通信ルートが遮断した場合に備え、県内全市町村と消防本部に衛星携帯電話を配備します。災害時には市町村間で相互利用できる全国初のシステムを構築し、被災地での通信手段の確保を図ります。

ビジット“ふくい”の推進

小松—上海便の定期就航に合わせ、11月に上海市で開催される中国国際旅遊交易会に観光ブースを出展し、本県観光地などの情報提供を行います。

小松空港に本県の観光紹介コーナーを設け、ポスターの掲示やパンフレットの陳列などを行い、誘客や本県の魅力をアピールします。

きめこまかな福祉

子供が病気になった時や回復するまでの間、子供を一時的に預かるための保育室、観察室、安静室などを整備する費用を新たに助成し、病児デイケアを推進します。

障害者の方にIT技術を修得してもらうことで雇用機会を拡大するため、職業訓練を実施します。



病児デイケアを推進します

生活環境の保全

廃棄物の排出実態調査を行い、最新のデータに基づいた廃棄物処理計画に改めます。

鳥獣被害対策では、住民が協力して行う電気柵の共同管理や獣害防止に向けた牛の放牧実験など、本年度から本県が全国に先駆け実施している取り組みを全国に紹介するシンポジウムを、来年2月に開催します。

県都の活性化

福井駅と県立図書館、生活学習館の間を無料で連絡していたフレンドリーバスについては、今回新たに福井市美術館を経由地に加えて利便性の向上を図りました。また、県有のノンステップバスを宝くじ助成金を活用し1台増やします。

福井市手寄地区の市街地再開発事業については、ホールおよび事務フロアの2階分を取得し、県民の交流、活動の場となる新しい都市型複合施設を整備します。

その他の重要施策

福井駅周辺の連続立体交差事業によるえちぜん鉄道の高架化について、事業者の負担金の一部を助成します。

敦賀市民間最終処分場については、敦賀市と共同で浸出液の漏出を防止する抜本的対策を進めるため、技術的、経済的に合理的かつ効果的な対応策を検討します。

小児療育センター、特殊教育センター、福井東養護学校、看護専門学校は、平成18年度の完成を目指して本年度内に建設工事に着手します。

「身近な知能犯罪」を抑止するために

県では、昨年8月に、県公安委員会、県警察本部と共同で「福井治安回復プログラム」を策定し、治安対策を強力に進めた結果、平成15年における本県の刑法犯

認知件数は前年比で10%減少と9年ぶりにマイナスに転じました。さらに本年上半期においては前年同期比23%減少し、全国第1位の成果をあげています。

一方、いわゆるオレオレ詐欺、架空請求詐欺、インターネット・オークション詐欺など、県民のだれもが被害に遭うおそれのある「身近な知能犯罪」が急増しています。

このため、本年8月25日、同じく3者が共同して『「身近な知能犯罪」抑止プログラム』を策定し、県民、金融機関、市町村などと連携して、全県的にその抑止に取り組むこととしました。

犯罪の最新の手口などを分かりやすく伝える出前講座を開催するとともに、金融機関の窓口担当者への講習を実施し、被害の未然防止を図ります。

また、インターネット・オークション詐欺に対応するため、コンピュータ犯罪解析用資機材を整備します。



「身近な知能犯罪」の手口などを学ぶセミナーなどを全県的に開催し防犯意識を高めます

7 月福井豪雨災害対策事業

(単位：億円)

総 額	7月専決・8月補正		9月補正		累 計	
	対策額	予算額	対策額	予算額	対策額	予算額
	583	421	89	87	672	508
1 被害を受けた方々の生活・住宅支援	83	30	0.1	0.1	83	30
(1) 生活再建のための緊急支援	19	11	0.1	0.1	19	11
(2) 住宅再建の支援	64	19			64	19
(3) こころの元気回復	0.1	0.1			0.1	0.1
2 産業の再生	133	34	0.3	0.3	133	34
(1) 中小企業の復興支援	123	32	0.3	0.3	123	32
(2) 伝統的工芸品産地の再生支援	4	2			4	2
(3) 農業・農村の復興支援	6	0.1			6	0.1
3 社会基盤の早期復旧	269	259	40	38	309	297
(1) 河川・道路・砂防施設等の復旧	167	167	33	33	200	200
(2) 農林水産施設の復旧	100	90	2	2	102	92
(3) その他の施設の復旧	2	2	5	3	7	5
4 再度災害の防止	93	93	49	49	142	142
(1) 激甚災害対策特別緊急事業			8	8	8	8
(2) 災害関連公共事業	92	92	41	41	133	133
(3) 災害対策の緊急調査等	1	1			1	1
5 救助活動等の実施・支援	5	5			5	5

※「対策額」は貸付事業の融資枠のように事業の総額を表し、「予算額」は事業の総額のうち、福井県の支出分を表す数値である。
(例：貸付事業の融資枠100億円、県の金融機関預託額25億円の場合、「対策額」は100億円、「予算額」は25億円)

9 月補正予算の主要施策

(単位：万円)

区分	事業名	県民参加	予算額

災害復興の推進 (7月福井豪雨災害対策)	(被害を受けた方々の生活・住宅支援) 新 被災高齢者介護施設避難支援事業		370
	(産業の再生) 新 災害復旧資金無利子貸付事業		3,400 (債務負担行為) 159
	(社会基盤の早期復旧) 県単独河川等災害復旧事業 林道施設災害復旧事業(公共) 治山施設災害復旧事業(公共) 水産業共同利用施設災害復旧事業 福井鉄道福武線復旧事業補助金 県有施設等の復旧事業		437,268 21,209 621 1,188 2,355 28,025
	(再度災害の防止) 新 河川激甚災害対策特別緊急事業(公共) 河川等災害復旧助成事業(公共) 河川等災害関連事業(公共) 災害関連緊急治山事業(公共) 災害関連農地整備等事業(公共) 新 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業補助金(公共)		80,000 280,000 86,000 34,125 1,046 5,041
	新 災害ボランティア全国フォーラム開催事業 新 災害ボランティア活動推進事業 新 災害ボランティア活動促進懇話会(仮称)開催事業	○ ○ ○	500 121 58
	新 ふくいブランド発信事業 新 「ふくいは元気です」イメージ発信事業	○ ○	500 291
県民生活の安全・安心	新 衛星携帯電話整備事業 新 「身近な知能犯罪」抑止事業	○ ○	1,257 562
ビジット“ふくい”の推進	新 東アジア観光客誘致促進事業 新 小松空港観光情報発信強化事業	○ ○	737 108
きめこまかな福祉	新 病児デイケア施設整備事業 病児デイケア促進事業	○	297 608
生活環境の保全	新 廃棄物処理計画改定事業 新 全国鳥獣害のない里づくりシンポジウム開催事業	○	406 100
県都の活性化	フレンドリーパス運行事業 新 手寄地区市街地再開発における県施設整備事業 新 手寄地区市街地再開発における県施設整備事業にかかる価格調査		1,957 (債務負担行為) 400,000 172
その他の重要施策	新 えちぜん鉄道高架化支援事業 新 敦賀市民間最終処分場抜本対策検討事業 県立病院関連施設再整備事業		2,766 3,993 (継続費) 764,486

※「県民参加」欄は、「予算編成への県民参加」でご意見をお伺いした事業です。

詳しい内容は、県のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

(URL <http://info.pref.fukui.jp/>)

この記事に関するお問い合わせは、次の課までどうぞ

月補正予算：県財務企画課 TEL0776(20)0234

「身近な知能犯罪抑止」プログラム：県警察本部警務課 TEL0776(22)2880

 **BACK**

